

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(1)「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
----------	-----------------------------

令和2年までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・構想策定及び構想実現のための調査分析・事業立案 ・構想の広域的な連動を実現するための基礎調査・分析 ・来場者を受け入れるためのインフラ整備(道路整備、駅周辺の街並み整備) ・西武鉄道沿線からのアクセスやバス路線・シャトルバス導入の検討 ・構想の浸透を図るための啓発及び情報発信(各種メディアの活用) ・外国人観光客の受入れ体制の整備(観光コースの設定、案内看板設置等) ・外国人観光客をターゲットにした観光物産品の開発(狭山茶などの特産品を活かす)
進捗状況	概ね順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生関係交付金を活用し文化創造会議をはじめとした啓発事業を行い、市民等に対する構想の周知を図っている。 ・出前講座や住民説明会等において構想の説明などを随時行っている。 ・所沢駅周辺及び東所沢エリアは、開発や緑地確保の具体的な活動が進行している。民間企業や関係団体との連携のもと、様々な情報発信の手法を活用し、所沢市及び所沢ブランドの認知度向上に貢献している。 ・農商工連携推進事業や所沢ブランド特産品創出支援事業、地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業等を活用して地元農産物等を使った地域ブランドづくりを進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の構想に対する認知度が低いため、引き続き周知・啓発に注力する必要がある。 ・市外において構想をはじめとする所沢市の魅力PRが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる本市地域・経済の活性化やにぎわいを創出し、文化の創造と発信等に取り組むことにより、都市イメージの向上を図っていく。
物産館	<ul style="list-style-type: none"> ・7月より「所沢市観光情報・物産館」の建設工事に着手し、整備事業を進めた。また、指定管理者の選定が完了し、ハード面の整備や物産館内部の運用など開業に向け準備を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「所沢市観光情報・物産館」の開業が2021年5月へ延期となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との基本協定・年度協定の締結や「所沢市観光情報・物産館条例施行規則」の制定を進める。 ・「ところざわサクラタウン」を含む魅力的な観光・交流エリアを創造するとともに、魅力的な観光ルートの造成や回遊性の向上を図り、効果的な魅力発信を行っていく。
交通政策	<ul style="list-style-type: none"> ・市道2-572号線の整備が完了した。 ・所沢物産館YOT-TOKOへのバスルートとして選定されている市道(2-561号線・2-996号線)の交差点改良整備が完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスルートの市道は交差点以外の部分も用地取得を行う予定であるが、一部の地権者から了承を得られていない。 ・東所沢周辺のまちづくりを着実に進めながら、都市高速鉄道12号線延伸促進協議会を中心に12号線の延伸活動を一層促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスルートの市道は地権者の理解を得ながら、用地取得等を計画通りに推進していく。 ・引き続き交通政策を含む魅力あるインフラ整備を促進していく。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店及び小売店向けの多言語対応ツール「指さし会話シート」を飲食店・小売店・コロナ対策の3種類作成し、事業者向けセミナーの開催等により、外国人観光客の誘致及び事業者の受入れ体制の整備を進めた。 ・インバウンド対策を含めた魅力的な観光振興策を推進するため、留学生等を対象にモニターツアーを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後見込まれる人の流れを市域全体に広げていく方法を検討する必要がある。 ・構想を活用した近隣市町村との連携方法を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しながら、県・近隣市町村及び民間事業者と連携プロモーション活動を進める。 ・外国人観光客に対するインバウンド対策を進めていく。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(2)「産業用地創出」による産業振興
----------	--------------------

令和2年までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用転換推進エリアの特性に応じた事業計画とするための関係者との協議 ・事業計画の立案に向けた地権者の合意形成 ・必要に応じた都市計画変更手続きの実施 ・企業誘致等の推進
進捗状況	順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区では、組合土地区画整理事業の実施に向けて設立準備会が結成され、事業協力企業が選定された。市は産業用地創出に向けて、準備会に対して指導・助言するとともに、埼玉県条例に基づいた環境影響評価の実施や、埼玉県等関係機関との協議を進めた。 ・関越自動車道所沢IC周辺地区については、地権者に対し事業の仕組みなどについて理解を図る目的で説明会等を重ねた結果、地権者有志による発起人会が発足した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松郷工業団地周辺地区の事業化はCOOL JAPAN FOREST構想を踏まえ、今後の進め方や事業手法について検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区準備会が組合設立に必要な業務を支援するとともに、庁内各課と連携し埼玉県等関係機関との協議を進める。 ・関越自動車道所沢IC周辺地区のより具体的な事業検討を進めるため、発起人会と調整したうえで地権者の意向調査に取り組む。 ・松郷工業団地周辺地区の事業化を検討する。
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の取り組みとして、市内3か所の土地利用転換推進エリアの事業の進捗状況を確認しながら、立地を検討する企業等に対し、それぞれのエリアについて情報提供を行うとともに、本市の特性や企業立地奨励金等の支援策を案内している。 ・支援策の周知として、立地支援制度のポスターやチラシ、企業支援ハンドブックを各方面に積極的に配布しPRを行った。 ・令和2年度には、市内の製造業事業者を対象に、立地意向調査を実施し一定数の立地ニーズがあることを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、産業用地創出に向けた取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ島工業団地周辺地区は、準備会や事業協力企業と情報共有・連携することで、市内企業の拡張移転や市外企業への誘致を進める。 ・三ヶ島工業団地以外の土地利用転換推進エリアは、引き続き本市の特性や企業立地奨励金等の支援策等のPRを行い、企業誘致を進める。 ・引き続き庁内各課と連携し県との協議を進めるとともに、事業化に向けて地権者の理解を図る。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化
----------	----------------------

令和2年までの具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口土地区画整理事業の工事着手 ・所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の工事着手 ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業の工事着手
進捗状況	順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み			
項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
所沢駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口土地区画整理事業については平成28年6月に換地計画の認可を受け、同年10月に着工した。 ・所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業については、平成29年5月に事業計画変更認可、同年9月に権利変換計画認可を受け、同年10月に施設建築物の工事に着手した。また、組合に対し、補助金を交付するとともに、指導・助言等を行った。 ・「所沢駅周辺まちづくり連絡協議会」を開催し、駅周辺の回遊性の創出や安全で快適な歩行空間等の創出に向けた歩行者ネットワーク、また既存商業との連携を図るための意見交換を行った。 ・歩行者デッキ(ワルツ所沢北側の既存デッキから再開発ビル)の工事に着手した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備については権利者へ十分な説明を行い、理解を得ながら進める必要がある。 ・所沢駅周辺のにぎわい創出を図るため、来街者等の増加に対応する基盤整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口土地区画整備事業については、早期完了を目指し、権利者の理解を得ながら計画通りに推進していく。 ・所沢駅ふれあい通り線は、所沢駅西口土地区画整理事業と同時期の完成を目指して整備を進める。 ・引き続き来街者等増加に対応する基盤整備を進め、所沢駅周辺のにぎわい創出を図る。 ・所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業は令和3年度完了を目指し、事業計画の変更を行う。 ・歩行者デッキの工事は所沢駅西口交差点付近で行うため、交通に配慮し工事を進めていく。
所沢東町周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業については、平成30年1月に事業計画変更認可、同年2月に権利変換計画認可を受け、平成31年1月に施設建築物の工事に着手した。また、組合に対し、補助金を交付するとともに、指導・助言等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡幅整備される都市計画道路の歩道上空間の有効活用を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度完了を目指し引き続き助言・支援を行うとともに、都市計画道路の歩道上空間の有効活用を検討していく。 ・ファルマン通り交差点改良事業については、当該事業と同時期の完成を目指し、交差点全体の一体的整備を進めていく。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

重点プロジェクト	(4)「水とみどりがつくるネットワーク」の構築
----------	-------------------------

令和2年までの 具体的な取り組み目標	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全地域や市民の森等のまとまりのあるみどりの保全 ・狭山湖周辺人道橋などの散策路の整備 ・「みどりのパートナー」等によるみどりを支える仕組みの充実 ・「みどりのふれあいウォーク」等の狭山丘陵や武蔵野を親しむイベントの実施 ・周辺自治体等との広域観光施策の構築に向けた協議 ・「水とみどりがつくるネットワーク」の構築に向けた計画策定
進捗状況	概ね順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
みどりの保全	<ul style="list-style-type: none"> ・地域制緑地は「くぬぎ山特別緑地保全地区(旧称:駒ヶ原特別緑地保全地区)」「三ヶ島二丁目、旧鎌倉街道沿、上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域」「北秋津・上安松、若狭二丁目市民の森」「上安松、青葉台、向陽町、久米、若狭一丁目、東所沢四丁目まちなかみどり保全地区」を指定及び指定拡大した。 ・「北中ふるさとの緑の景観地」「三ヶ島二丁目、上山口堀口天満天神社周辺、旧鎌倉街道沿里山保全地域」「くぬぎ山地区」内等の土地8.45haを取得及び寄附受入れにより公有地化した。 ・保育園8園で「みどりの木陰づくり事業」を実施し、3園で園庭の一部を芝生化した。 ・多様な生物が生息する北野地内の砂川堀は、木柵などによる護岸整備を行い、多自然川づくりを推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地は相続や開発等により消失の恐れがある。 ・緑地購入のための財源確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地の公有地化を行うとともに、里山保全地域などの地域制緑地の指定を引き続き進める。 ・「ふるさとの川再生事業」については、市広報などにより周知を図り協力団体を募るなど、更なる事業の推進を図る。
計画・散策路	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月に「水とみどりがつくるネットワーク計画」を策定し、計画で作成した散策路マップデータを基に、所沢市おさんぽナビを作成した。 ・三ヶ島三丁目地内の砂川堀にウッドチップを敷き、護岸整備、剪定伐採等を行い、本計画を構成する川沿いの散策路整備を行った。 ・観光客や近隣住民が安全に周遊できる散策路を整備するため、狭山湖周辺人道橋建設工事を行い、令和3年3月に完成、「狭山湖ふれあい橋」として供用開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山丘陵の魅力を高めるため、散策用トイレの設置や案内板、道標の整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を推進するため、庁内調整会議「みどりコトコプロジェクト会議」を設置し、事業の進捗状況を確認していく。 ・狭山湖周辺の市道5-4号線に設置したふれあい橋について、令和3年度に周辺整備工事を行い、安全な散策路を確保する。
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の森等や緑地の保全活動状況を公表し、みどりのふれあいウォーク・みどりのカーテンコンテストといったふるさとのみどりの啓発事業を展開している。 ・みどりのパートナー活動を推進し、登録者は1,500人となった。 ・みどりのパートナーへの情報提供や補助金等の支援、技能向上のためのみどりのパートナー育成講座を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりを活用した啓発事業の充実を図るとともに外国人等を含めた来訪者に対する受入体制整備が必要である。 ・近隣市等との連携による豊かな自然を活かした魅力発信が必要である。 ・みどりのパートナーをはじめとする自主的な市民活動への支援とともに市民活動の拡大に向けた仕組みづくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きみどりのふれあいウォークの実施等、啓発事業を進めていく。 ・みどりのパートナー活動推進のため、支援制度の充実を図り講座の開催や緑地管理のアドバイス等を行っていく。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針	(1)まちの魅力をUP
------	-------------

基本目標	<p>所沢市の魅力を高め、住み続けたいまち、訪れたいまちを目指します</p> <p>本市は、都心から30kmに位置しているなかで、豊かなみどりや農産物に恵まれており、都会と田舎が程良く混在した地域です。</p> <p>このような市域の特性や市が持つ資源を機能・調和・融合させて、「所沢ブランド」による効果的なPRを進めながら、まちのにぎわいを創出し、経済の活性化を進めます。</p> <p>また、人と自然と文化が調和したまちづくりを進め、人々が集い・憩い・安らぎを感じる住み続けたいまちを目指します。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・野老澤町造商店との連携、新規創業支援推進事業等を実施している。 ・コロナ禍で縮小開催となったものの、「とことこタワーまつり」「野老澤行灯廊火」等を支援して中心市街地のにぎわいを創出したほか、各商店街の取組に補助金を交付し地域・経済の活性化を図った。 ・所沢市ロケーションサービス事業やイメージマスコット「トコロん」等を通じ、所沢を市内外にPRした。また、FacebookやトコロんのTwitterを活用し情報を発信した。 ・「ところざわ埋文まつり」等を開催し、所沢の豊かな自然や文化財の魅力を発信した。 ・「ところざわサクラタウン」のオープンを機に新たなにぎわいをみせる東所沢エリアの商店街において、専門家を派遣し、商店街ワークショップ等の開催や商店街振興に関する伴走型支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略指標である全国住みよさランキングの実績が未達成のため、まちの魅力UP事業は更なる検討が必要である。 ・今後見込まれる人の流れを市域全体に広げていくための方法を検討する必要がある。 ・市外に対する情報の伝達が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市の観光資源の魅力をSNS等を活用し効果的に発信していく。 ・所沢で生まれ、育まれてきた有形・無形文化財等の保存・活用を図り、県史跡「滝の城跡」の整備を進めるとともに、歴史的建造物の保護と普及啓発に努める。 ・「ところざわサクラタウン」のオープンを機に新たなにぎわいをみせる東所沢エリアの商店街において、持続的にエリアの魅力づくりを創出できる組織の体制整備を支援するとともに、所沢駅周辺の再開発エリアを含めた市域全体への回遊性を高める商業振興を行っていく。
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・「音まちコンサート特別公演」と題し、ミュージズ・アークホールにて演奏会を開催した。 ・フランス航空教育団が来日して2019年で100周年を迎え、在日フランス大使館、在日フランス商工会議所や関連企業と連携して、記念イベントを行った。 ・新型コロナウイルス対応実証事業として、ソーシャルディスタンスステージ「トコロんコンサート」を実施した。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となり、実施困難な状態が続いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも「音楽のあるまちづくり」を推進するため、「音まちコンサート」等の実施方法等を検討する。 ・フランス航空教育団来日100周年記念イベントで連携した関係団体等へ引き続き「航空発祥の地 所沢」をPRし、フランスと本市の今後の関係を協議していくとともに、新たにつながりをもった自治体等との連携を進める。
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピック推進事業では、ゴールボール体験会の開催など、パラスポーツの普及啓発に向けた取組を通じて、障害のあるなしにかかわらず、スポーツを楽しむまちづくりを進めた。 ・イタリアオリンピックチームの事前キャンプ誘致を契機に、選手と市民との人的交流を図った。また、ホストタウンの取組として、市内イタリア料理店をめぐるグルメラリーやワインの試飲イベント等を実施し、地域の活性化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの活用等、コロナ禍においても事業を進めていく必要がある。 ・外国語対応表示板やガイド作成、フリーWi-Fiエリア設置等によるインバウンド受入れ体制の強化を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前キャンプを通じて築いたイタリアとの友好関係を大会レガシーとして、友好都市に発展するような取組を進めていく。
農産物	<ul style="list-style-type: none"> ・農業祭や収穫体験等を通じ、生産者と消費者の交流を図った。 ・「所沢農産物親子料理会」「採れたて！農産物直売とことこ市」等を通じ、地産地消を推進した。 ・地元農産物や文化・歴史を活かした魅力ある商品を「所沢ブランド特産品」として認定することで販路を支援し、地域経済の活性化と所沢ブランドの創造を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのにぎわいを創出するための魅力の一つとして、所沢農産物をPRしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とことこ市の開催支援や体験農場の管理・運営等を実施し、所沢農産物の魅力を多くの市民等へ伝え、消費の拡大及び地産地消の推進を図る。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針	(2)産業の力をUP
------	------------

基本目標	<p>産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します</p> <p>都市へのアクセスがしやすい本市は、首都近郊都市として発展してきた一方で、世界に名だたる工業製品を生産する企業も存在しています。</p> <p>地域の活力の基礎となる、そのような個性豊かで競争力のある企業の発展を支援するとともに、地域で安心して働くことのできる、仕事と家庭の両立がしやすい環境づくりを行います。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
産業	<ul style="list-style-type: none"> 「所沢市産業振興ビジョン」の実現に向け、学識経験者・国・県・各産業関連団体等を委員とした「所沢市産業振興ビジョン推進会議」を開催し、施策を検討した。 地域経済動向調査等を行い、市内経済の状況の把握を行った。 企業誘致の取り組みとしては、令和2年度には、市内の製造業事業者を対象に、立地意向調査を実施し一定数の立地ニーズがあることを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画内容の点検・評価を適宜行い、必要に応じて見直しを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場等の新設や拡張について、引き続き企業立地等奨励金の施策により支援を行っていく。 所沢市における地域経済動向調査等を継続し、市内経済の課題等を把握し、施策検討を行う。
商店街	<ul style="list-style-type: none"> 商店街空き店舗の活用を行い、商店街の活性化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の活用については、商店街自体の活性化を図る必要があるとともに、活用に向けた支援制度を見直す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も商店街内にある活用可能な物件の情報収集や発信などにより、新規創業の促進を図る。
農業	<ul style="list-style-type: none"> 経営基盤の強化を図るため、新規就農者や新規に参入する農業法人に対して農地賃借に係る費用の一部を補助した。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興に当たっては、担い手育成や農業経営を合わせた継続的・総合的なサポートを進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業者へ充実したサポートを行うため、農地サポート事業の一層の周知を図り、農地の流動化及び集約化を促進する。 農業経営基盤の整備促進を図るため、認定農業者や農業後継者の機械購入等に対する補助事業を行う。
労働	<ul style="list-style-type: none"> 「セカンドキャリアセンター所沢事業」や「就労チャレンジ支援事業」など若者や女性、シニア等の就労支援事業に強力に取り組み、就職者の増加につなげた。 中小企業で働く従業員と事業主の福祉の向上を図るため、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの円滑な運営を支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層を中心とし、様々な世代に即した就労支援の拡充を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県との共催により、セカンドキャリアセンター事業を実施し、若者、女性、中高年、シニアを対象とする就職支援セミナーを行うとともに、引き続き就職相談を行う。 国との一体的な取り組みとしてハローワーク所沢と共同で「就労チャレンジ支援事業」を実施し、生活困窮者及び若年者等の就職を支援する。 中小企業勤労者への福利厚生事業を推進するため、中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営事業を支援する。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (3) みんなの安心をUP

基本目標	<p>すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備します 核家族化の進行や地域のつながりが希薄化する中で、人への優しさや思いやり、家族の絆を深めることが必要です。 市の宝である子どもたちが健やかに育つためには、子育てについての第一義的な責任を有する保護者が、安心して子育てができ、子育てに喜びや生きがいを感じることができる環境の整備を行うとともに、家庭・事業者・行政はもとより、すべての市民が「市の宝」である子どもたちの幸せを願い協力し合える、地域・社会全体の仕組みづくりに努めます。 そして、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くために、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成することができる教育環境を創り、「学ぶなら所沢」といわれるまちを目指します。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
学校	<ul style="list-style-type: none"> 「学び創造アクティブプラン」に基づいた学力向上支援を行い、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進した。令和2年度より、「学び創造アクティブPLUS」とし、「必要感・達成感」、「自己肯定感」、「未来を切り拓く力」の3つの行動方針を柱に据えた取組を推進した。令和元年度より、「今、あなたがここにいること—自分を大切に 友だちを大切に—」というメッセージと映像資料を作成し、全ての学校で、児童生徒の自己有用感を高め、命の大切さを考える取組を行った。 いじめ問題や不登校などの課題に対応するため、市費スクールカウンセラーや心理士等による相談活動の充実を図るとともに、教育相談アドバイザー等から支援いただき、学校の対応力や組織力を高めた。また、いじめ問題対策委員会との連携を図り、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努めた。 児童館生活クラブの定員拡大や民設民営児童クラブの新設等により放課後児童健全育成事業の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上の推進に向けた事業は定着してきたが、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や多様な考えを引き出すための学び合いの在り方などをさらに検討していく必要がある。 いじめや不登校などの課題により一層対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も引き続き、「学び創造アクティブPLUS」では、「必要感・達成感」「自己肯定感」「未来を切り拓く力」をキーワードとし、学校・家庭・地域が一体となった取組を一層充実させ、子どもたちが未来に向かって夢をもって歩めるよう支援していく。 引き続き、各相談員による相談活動や教育相談アドバイザー等による支援を充実させ、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努め、児童生徒の健やかな心の育成を図っていく。 生命を尊重し、すべての児童生徒にとって過ごしやすい学校となるよう「心のエネルギープロジェクト」を推進し、教員の授業力や学級経営力を高め、児童生徒の自己肯定感を育むことで、主体的に生き抜く力を育成している。 民設民営児童クラブによる施設整備のほか、教育委員会などの関係機関と調整しながら、放課後児童健全育成事業の充実を図る。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> こども支援センターを平成29年1月に開設し、親子が交流できる広場の提供、子育て情報の発信や子育て相談を行う子育て支援事業と、発達障害の相談、親子教室、講演会等を行う発達支援事業を実施している。 同センターでは子育て支援と発達支援の機能を併設しており、各事業が連携しながら多様な子育て相談、必要に応じた適切な早期療育へ繋ぐことで、充実した支援を行っている。 とことろっこ子育てサポート事業では、保育士が育児相談や保育園・幼稚園等の入園、地域子育て支援施設の案内をこども支援課窓口とこども支援センターで実施し、身近な立場で支援した。また「子育て世代包括支援センターかむがも」では、助産師等の専門相談員が相談、助言及び関係機関等との連携により支援した。 妊娠、出産、子育てに関する情報をまとめた「とことろっこ子育てガイドブック」を発行し、情報発信に努めた。 三世同居を進める施策に関する事業について市ホームページに掲載し周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の声を踏まえながら、よりよい支援につなげていく必要がある。 子育てに関する相談内容が多岐にわたるため、関係機関との連携をより一層充実していく必要がある。 子育て支援の更なる充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもが生まれた環境によって左右されることなく健やかに成長するための各事業の充実を図る。 こども支援センターの子育て支援事業について、親子が気軽に交流や相談できるよう、支援の充実を努める。 同センターの発達支援事業について、相談支援、通所支援、地域支援を充実させ、発達障害の早期支援を行う。 第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て環境のさらなる充実を図る。 産後、心身の不調や、育児に不安がある等支援を必要とする母子に産後ケアを実施する。 地域での子育て支援体制の充実を図る。

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 総括表

戦略方針 (4)暮らしやすさをUP

基本目標	<p>安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します</p> <p>震災や異常気象といった被害により、地域の安全に対する意識が変化するとともに、安心で安全なまちが求められています。人と人が絆を紡ぎ、助け合いの心を育むことができるよう、コミュニティや住民活動を支援しながら、防災力・防犯力・地域力の強いまちを目指します。</p> <p>また、人と環境に優しく、安全・円滑・効率的な道路・交通機能の確保と向上を目指すとともに、良好な住環境を形成し、市民の暮らしやすさの向上に努めます。</p> <p>さらに、必要なときに必要な医療を受けられるよう、医療体制の充実を図ります。</p>
進捗状況	概ね順調に進行している

平成27年度～令和2年度の取り組み

項目	取り組み状況	現状の課題	今後の方向性
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワーク組織である地域づくり協議会の活動や設立の支援し、地区の特性に応じた主体的な活動につながる仕組みづくりを促進した。(令和2年度末時点で10地区に設立されている) ・地域づくり協議会活動支援交付金の増額や補助対象経費の拡充により、各地域づくり協議会の地域づくりに資する取組の財政的支援を実施した。 ・避難行動要支援者支援名簿を作成し、自治会・町内会長、民生委員に配布した。 ・わんわんパトロール登録者数が1,631名に達した。 ・空き家の適正管理に関する条例に基づき所有者に指導した結果、条例施行以降令和2年度末で88.0%の解決率を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域のコミュニティ活動を支援し、住民が隣近所で助け合えるような仕組みづくりを進めることが必要である。 ・高齢者事故死者数の割合が高いことから、今後も警察等と連携し、高齢者に対する交通安全事業を実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織、自治会・町内会と協働して、家具の転倒防止策や食料の備蓄の必要性を啓発していく。 ・自主防犯団体の活動状況を把握し、必要な支援を行う。 ・市民活動支援システム「トコロんWeb」では事業案内や市民活動に関する情報発信に努め、市民活動支援センターの登録団体に積極的な利用を促し、利用の拡大を図る。また、市民活動支援センターのFacebookも活用していく。 ・空き家の適正管理に向け、所有者に対して適切な指導を行う。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市地域公共交通会議において、三ヶ島地区における新たな交通手段(ところワゴン)の導入に向け、地域住民と協働による検討を行った。 ・「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区、所沢市で構成)」において、延伸にむけた検討を進めるとともに、東京都、及び埼玉県への要望活動を行った。 ・都市計画道路北野下富線と松葉道北岩岡線の用地取得と道路工事を進めた。これまでに、北野下富線は延長4,672mの区間、松葉道北岩岡線は延長890mの区間が開通している。 ・「西所沢駅西口開設整備計画」(平成27年度策定)に基づき、同駅西口周辺の安全性・利便性向上のため、西口改札口の早期開設を目指し、鉄道事業者との協議等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中心部の慢性的な交通渋滞が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞解消に向け、主要幹線道路である埼玉県施行の飯能所沢線の建設促進を図るとともに、市内幹線道路のうち優先して北野下富線、松葉道北岩岡線の整備を進める。 ・柳瀬地区や富岡地区など他の地区においても地域の公共交通の利便性を向上するため、ところワゴンの導入に向けて地域の市民と協働して検討を進める。 ・西所沢駅西口改札口の早期開設を目指し、まずは鉄道事業者との基本協定を締結し、駅舎等の調査・設計、及び西口周辺の安全対策についての検討を進める。
保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市域において、365日、昼間・夜間・深夜のすべての時間帯で小児初期救急診療体制を維持するため、関係医療機関等との調整を図った。 ・平成28年度～令和元年度は、「トコロん健幸マイレージ事業」を各年度1,000名を対象に実施するとともに、運動教室や講演会を実施するなど、「歩き」だけにとどまらない事業展開を図った。 令和2年7月には、埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ」に参入することで、事業費の抑制を図るとともに、参加者数や参加期間の制限を無くし、歩数計だけでなくスマートフォンでも参加できる等の見直しを行い、「トコトコ健幸マイレージ」としてリニューアルした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行により外出の機会が減少し、特に高齢者の体力低下が懸念されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次所沢市保健医療計画に基づき、市民の健康増進につながる取組を実施し、進行を管理していく。 ・令和3年度以降も、市民が「誰でも、いつでも、どこでも、いつまでも」楽しみながらから自らの健康づくりに取り組めるよう、引き続き「トコトコ健幸マイレージ」を実施していく。

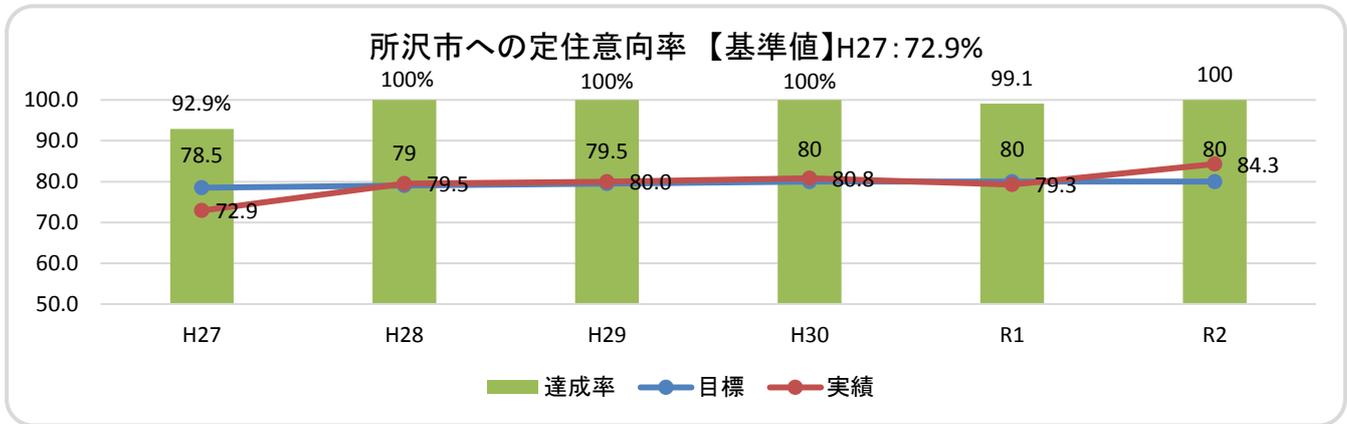
戦略方針(1)まちの魅力をUP

【基本目標】所沢市の魅力を高め、住みたいまち、訪れたいまちを目指します

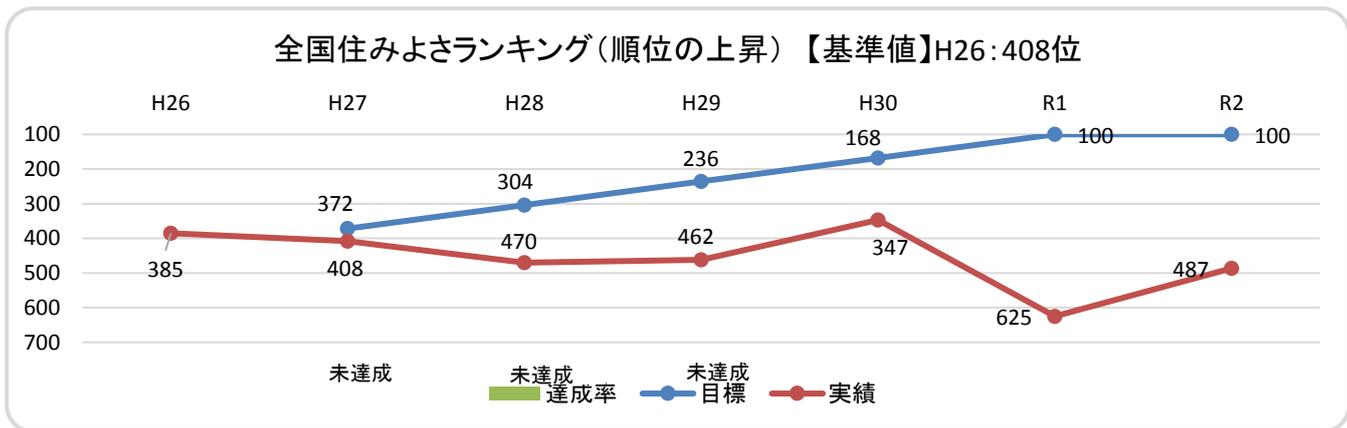
■関連する重点プロジェクト

- (1)「COOL JAPAN FOREST構想」の推進
- (4)「水とみどりがつくるネットワーク」の構築

戦略指標		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
所沢への定住意向率 (市民意識調査)	目標	78	78.5	79	79.5	80	80	80	%
	実績		72.9	79.5	80.0	80.8	79.3	84.3	%
	達成率		92.9	100	100	100	99.1	100	%



戦略指標		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
全国住みよさランキング (東洋経済新報社)	目標		372	304	236	168	100	100	位
	実績		385	408	470	462	347	625	位
	達成率		未達成	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成	%



【重要業績評価指標(KPI)】

その1 まちの魅力をさらに高める	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①所沢駅の1日平均乗降客数	95,772	97,662	99,994	102,732	104,984	102,368	78,002	人
②芸術・文化に触れる機会への満足度		41	43	44	43	43.1	36.6	%
③野老澤町造商店が開催するイベント参加人数	58,134	73,714	86,912	93,801	82,478	82,456	3,782	人
④COOL JAPAN FOREST構想の認知度			41.7	42.1	43.8	53	64.6	%
その2 まちの魅力を発信する	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①Facebook(広報課)の充実度(いいね!の数)		973	1,154	1,296	1,362	1,485	1,631	人
②観光客数	5,590,069	6,088,631	5,502,518	5,527,592	6,091,209	5,973,445	2,502,709	人
③婚活事業におけるカップル成立割合	34	33.5	42.7	30.3	30.5			%
その3 まちに対して愛着や誇りを持ってもらう	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①市の愛着度		81.7	85.2	85.7	86.6	86.7	88.5	%
②都市景観や街並みの満足度		58.6	63.8	63.6	65.9	66.6	67.2	%
③新たに確保するみどりの面積	37.77	45.38	55.07	55.07	84.73	86.16	96.83	ha
④都市公園の整備面積	136.2	138.78	140.7	141.2	141.5	142.12	142.49	ha

戦略方針(2)産業の力をUP

【基本目標】産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します

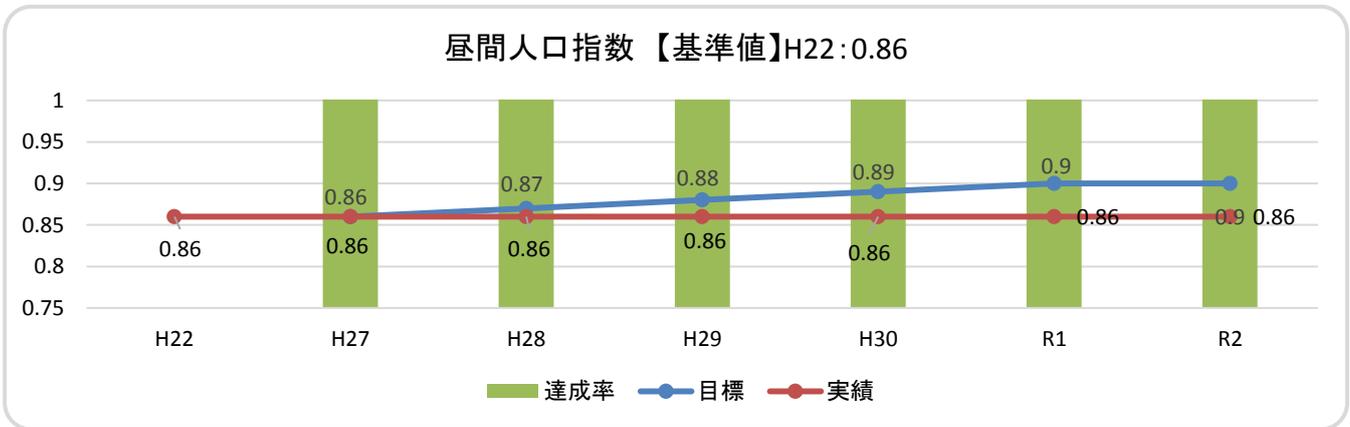
■関連する重点プロジェクト

(2)「産業用地創出」による産業振興

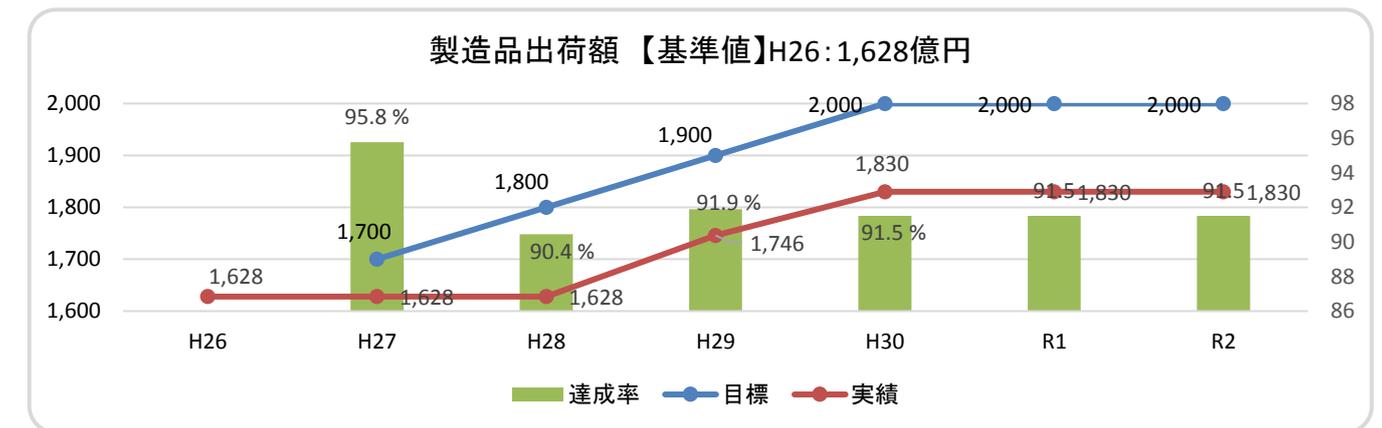
(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化

※国勢調査(5年)毎に更新

戦略指標		H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
昼間人口指数 (国勢調査)	目標		0.86	0.87	0.88	0.89	0.9	0.9	位
	実績	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	位
	達成率		100	85.850	97.73	96.63	95.56	95.56	%



戦略指標		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
製造品出荷額 (工業統計調査)	目標		1,700	1,800	1,900	2,000	2,000	2,000	億円
	実績	1,628	1,628(H26)	1,628(H26)	1,746	1,830	1,830(H30)	1,830(H30)	億円
	達成率		95.8	90.4	91.9	91.5	91.5	91.5	%



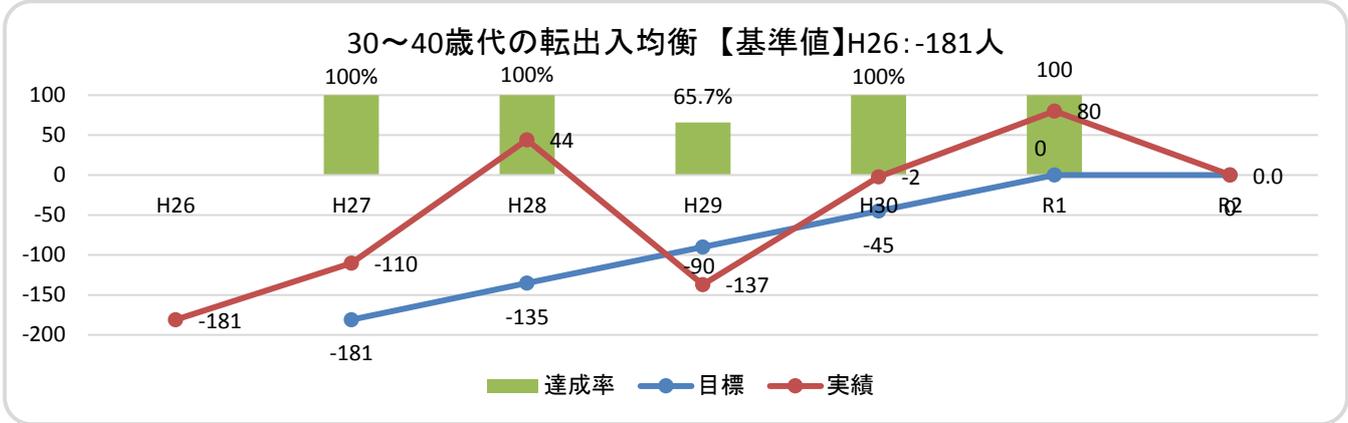
【重要業績評価指標(KPI)】

その1 産業基盤を整備する	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①農地サポート事業の実績	2.5	1	1.6	5.9	8.2	6.2	2.5	ha
②製造業事業所数(従業者数4人以上の事業所)	259	259(H26)	259(H26)	258	253	253(H30)	248(H31)	事業所
その2 経営基盤を安定・強化させる	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①事業所あたりの償却資産課税標準額	12,821	13,127	13,249	13,305	12,974	10,686	12,860	千円
②市内小売業の年間商品販売額	2,574	2,574	2,574	3,085	3,085	3,085	3,085	億円
その3 雇用を創出し、就労支援を充実する	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①就労チャレンジ支援事業による就職者数	193	233	260	221	207	159	124	人
②中小企業退職金共済掛金等の補助制度の新規利用事業主数	23	23	26	16	29	26	18	事業主
③製造業従業者数(従業者数4人以上の事業所)	8,427	8,427(H26)	8,427(H26)	8,261	8,405	8,405(H30)	8,878(H31)	人
④若年層人口に占める転出数の割合 ※値の削減		14.2	14.4	15.1	16.1	17.3	算出中	%

戦略方針(3)みんなの安心をUP

【基本目標】すべての子どもたちが尊重され、たくましく健やかに成長できるような環境を整備します

戦略指標		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
30～40歳代の転出入均 衡(住民基本台帳人口 移動報告)	目標		-181	-135	-90	-45	0	0	人
	実績	-181	-110	44	-137	-2	80	算出中	人
	達成率		100	100	65.7	100	100		%



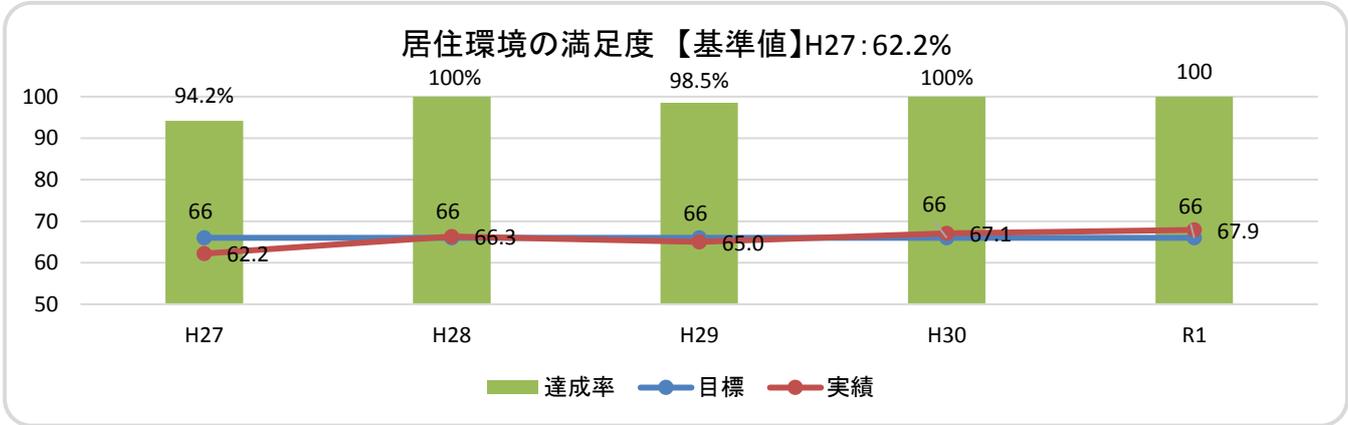
【重要業績評価指標(KPI)】

その1 子どもの育ちへの支援を充実する	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①児童クラブ施設及びサービス等保育環境に係る満足度		41.5	43.8	67.1	52.7	81.0	71.2	%
②授業がわかりやすいと思う児童・生徒の割合	90	84.6	93	90	91			%
③新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る割合	65.3	55.6	53	53.5	56.9	52.1	中止	%
その2 子どもが幸せに過ごせる環境をつくる	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①所沢市子ども支援センターの利用者数			22,108 (H29.1～3)	105,373	116,403	108,712	56,242	人
②児童クラブ及び児童館生活クラブ利用料の助成件数		578	614	625	666	613	632	件
その3 子どもと“みんな”がつながる	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①妊婦健康診査の受診率	99	94	94	94	94	94	94	%
②地域子育て支援拠点施設の利用者数	178,659	221,345	247,555	283,167	294,344	248,614	96,463	人

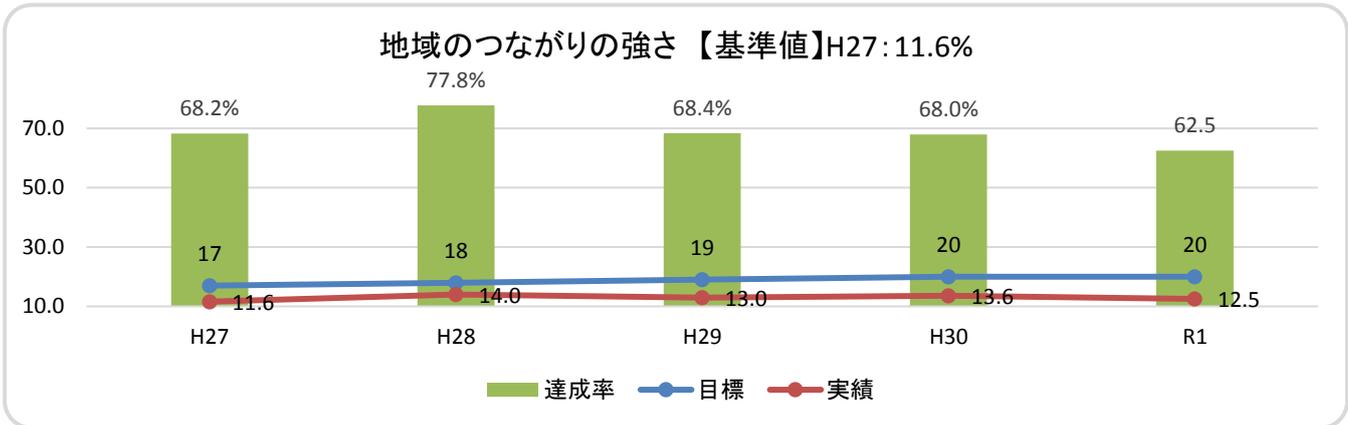
戦略方針（4）暮らしやすさをUP

【基本目標】安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します

戦略指標		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
居住環境の満足度 (市民意識調査)	目標		66	66	66	66	66	66	%
	実績		62.2	66.3	65.0	67.1	67.9	68	%
	達成率		94.2	100	98.5	100	100	100	%



戦略指標		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
地域のつながりの強さ (5年程度前との比較) (市民意識調査)	目標		17	18	19	20	20	20	%
	実績		11.6	14.0	13.0	13.6	12.5	13.1	%
	達成率		68.2	77.8	68.4	68.0	62.5	65.5	%



【重要業績評価指標(KPI)】

その1 地域の絆づくりを大切にする	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①自主防災組織数	201	205	208	211	214	215	215	組織
②犯罪発生件数 ※値の削減	3,841	3,610	3,141	2,796	2,510	2,448	1,932	件
③地域活動への関心度		46.7	50.7	50.2	47.8	50.3	48.0	%
④地域活動への協力意向		53.5	55.0	54.9	55.1	56.0	56.4	%
その2 快適な交通環境を提供する	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①都市計画道路の整備状況		69	70.2	70.5	70.7	71.2	72.2	%
②規格改良済車道延長	532	534	535	538	541	544	545	km
③東西連絡道路の整備		実施設計	工事	工事	工事	完了		
④交通事故(人身事故)発生件数(概数) ※値の削減	1,422	1,562	1,266	1,191	1,106	1,020	770	件
その3 保健医療体制を充実する	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	単位
①「所沢市保健医療計画」の策定・推進	策定	推進	推進	推進	推進	策定・推進	推進	
②健康寿命の順位	4(H25)	3(H26)	4(H27)	5(H28)	5(H29)	4(H30)	8(R1)	位
	16(H25)	20(H26)	18(H27)	12(H28)	8(H29)	11(H30)	14(R1)	位
③健幸マイレージ事業参加者の満足度		***	***	92.3	90.4	96.3	91.9	%
④健幸マイレージ事業参加者の医療費抑制額(国民健康保険加入者)		0	14,822	6,605	20,685	14,401	13,344	千円
⑤こころの健康講座等の参加者数	2,260	2,722	3,845	3,246	2,889	3,428	2,898	人